

西東京稲門会  
定時総会で「ガザ」をテーマに  
講演会

2025年6月15日(日)、東  
伏見キャンパスで開かれた定時総  
会で、早大の岡真理教授が「21  
世紀のホロコースト ガザのジェ  
ノサイド」題して講演。  
教授はプロジェクターで写真を  
使いながら、メディアが十分に報  
道しないガザの現状を、熱く語る。  
20年前のガザ市は整然とした街  
並みに高層ビルが建つ美しい地中  
海沿岸都市だったが、今は崩れ落  
ちた建物と瓦礫だけが広がる無残  
な荒地だ。ガザ市とガザ地区のす  
べてのモスクや遺跡、病院、学校、  
住居が破壊された。

「今ガザで今起きているのは  
紛れもなくジェノサイドです」と  
教授は言い切る。ガザの現状に何  
の手も打てない国際社会への痛烈  
な非難表明だ。

講演会は一般公開され、珍しく  
受付前から長蛇の列ができて、300  
人収容の教室は満席。終了後の質  
問に、50人が残って「国連は機  
能しているのか？」、「西岸地区な  
ぜガザを助けない？」等々、予定  
時間をオーバーして質問が続き、  
関心の高を示すタイムリいな講演  
会だった。

林 尚登・野口みどり 記